

指導のねらい

複数の文章を読んで、表現の仕方をとらえることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B ① 二 トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する。

正答率50.2%

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年及び第3学年〕 C 読むこと

ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。

授業アイデア例

教材例 ● 新聞(一般紙)数紙

学習の流れ

① 一般紙数紙の「トップ記事」、「コラム」などの書き方を比較する。



トップ記事にはその日の大きな出来事などが取り上げられ、日時や場所、どのような事件が起きたかなどが中心に書かれているね。

コラムは書き出しが工夫されているね。それと、「楽しみだ」とか「大切にしたい」とか、書き手の思いが書かれているよ。



教師

トップ記事の多くは、事実が「客観的」に書かれています。一方、コラムは、ある事実に対する書き手の意見や思いなどが書かれていますね。

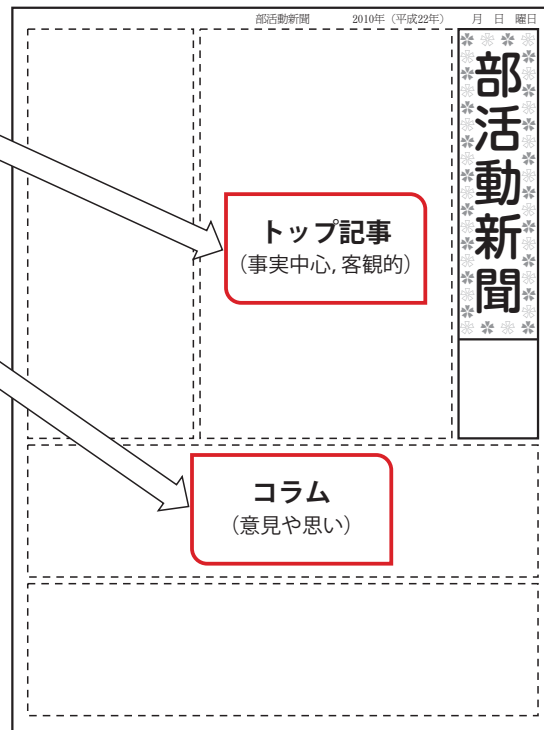
② ①で学習したことを基に、「部活動新聞」のどこに何を載せるのかを考える。



この夏はサッカー部が全国大会に出場したことが一番大きな出来事だったね。みんなにも詳しく知ってほしいから、開催地や日時、大会成績を含めてトップ記事にしたらどうかな。



どの部活動も、勝っても負けても涙を流していたね。涙の意味について書きたいな。どこに載せるべきかな。



③ 新聞の書き方を踏まえて、「トップ記事」と「コラム」を簡潔に書いてみる。

④ グループで読み合い、一般紙と比較しながら、それぞれの記事としてふさわしいかどうかを内容や表現の仕方に着目して検討する。

留意点

- 新聞を教材に用いる際には、学習のねらいに合った内容や表現の仕方に配慮して記事を選択することが大切である。
- 「事実」と「意見」、「主観」と「客観」などの概念について指導するとともに、新聞記事の中で具体的に確認することが大切である。